

フードバンク 家庭に配食

フードバンクを運営するNPO法人「あいあいねっと」（広島市安佐北区可部）が自ら食事を作るのが難しい人を対象に、配食サービスを始め、安くて健康面に配慮したメニューで、高齢者や障害のある人たちの見守りにもつなげる。事前予約制で21日から受け付ける。

（有岡英俊）

配食サービスについて、地域のケアマネジャーと打ち合わせをする原田理事長（奥中央）



対象は当面、可部と高陽の両地区を中心に1人暮らしの高齢者や障害者、夫婦いづれかが寝たきりの高齢者世帯を想定する。1食400円と370円の2種類の夕食を用意。おかずは煮魚やあえ物などになるという。

希望者には事前に面談し、医師からの食事制限や持病の有無を聞いて味付けする。きざんだり一口大にしたりして食べやすさも工夫する。10枚1セットのチケットを購入してもらおう。

配達には地域のヘルパーの力を借りる。原則手渡しで、

可部のNPO 高齢者らの安否確認も

利用者の健康状態のチェックや安否確認にもつなげる。福祉施設のケアマネジャーたちと情報交換し、食事に困っている人の紹介を受けける。

フードバンクは、衛生上問題がない廃棄食品や野菜を集めて福祉施設などに無償で提供する仕組み。同法人が事務所週2日営業する「まめn anレストラン」は、寄付された食材で安価に提供。訪れるお年寄りの生活実態を知り、配食サービスに乗りだした。

6月までは月、水、木曜、7月から火、金曜を除く毎日営業する。3日前までに申し込む。原田佳子理事長は「地域でフードバンクを進める一つの集大成。食事で健康面を支え、見守りのネットワークを築きたい」と話す。あいあいねっと ☎082(819)3023（平日のみ）。